

チャレンジ ～挑戦～



信陵中学校 学校だより

令和 7年 1月17日

第 8 号

文責：校長 青柳 茂宏



教育目標 『 自 律 ・ 協 働 ・ 挑 戦 』

3学期始業式校長式辞より (一部抜粋)

【「自由」と「責任」について】

2学期の終業式の際に生徒会から『置き勉』改め『フリスト』について」の提案（下記資料参照）がありました。生徒自らの手で学校生活を改善する取組は、信陵中学校の充実発展のためには大きな意味をもち、大変興味深く、また頼もしく感じました。

言うなれば、自分たちが考え決めたルールを認めてもらうということは、「自由」を勝ち取るのだと思います。それは周りから決められたことに従うばかりではなく、生徒の皆さんによる自主的な取組が動き出しているということです。

しかしながら、「自由」には必ず「責任」がつきものであり、自ら決めたルールを守れないければ、学校でも家庭でも同様に信用を失いますし、それ以降の主張も「どうせ口先ばかりで結局自分たちでは何もできない」と言われ、認めてもらえなくなってしまうことにもなります。そうならないためにも、自分たちで決めたルールを「自覚」と「責任」をもって、皆さん一人一人が守っていかねばなりません。

逆にこのことができるのであれば、まさに本校の生徒自励目標の自ら「気づき 考え 行動する」信陵中生が体現できている理想の姿だと思いますし、最終的には皆さんが、学校生活を通して「社会でよりよく生きていける自律した人間」となるよう成長していくことに、つながっていくと思うのです。

【生徒会新聞より『フリスト』についての提案内容（一部抜粋）】

＜生徒会長から一言＞

みなさんの健康や安全に配慮して持ち帰れる教科を自分たちで選択できるように、みんなで考えてきました。生徒会、学級役員、規律委員と協力し、色々な意見を出し合い、ルールを決め学校生活をよりよくするために話し合いを重ねました。

＜置き勉の新名称＞

信陵中独自の名称として『フリスト』となりました。フリストとは、Free Study の略称で、個人の自由で持って帰る教科や置いていく教科を選択することが可能で、自己管理をしっかりしようなどの意味があります。そのためには、ロッカーを整理整頓する力、必要な物・不必要な物を選別する力、置く場所を清潔に保つ力などが必要です。Free だからいい、学習を怠らず、自分で計画的に進められるようにしましょう。



「受験シーズン本番を迎えています！」

年明け早々の1月7日を皮きりに私立高校の推薦入試が行われ、1月9日から一般入試が引き続き行われるなど、本格的な受験シーズンが始まりました。現時点での高校入試結果につきましては、大変すばらしい状況です。本校3年生の頑張りを大変うれしく思います。今後も県立高校等の受験に向けて、「出願」「入学試験」「合格発表」「入学手続」というようなスケジュールで進路事務が進んでいくことになります。

我々教職員も、中学校生活の集大成となる進路実現にあたり、3年生全員が希望する進路先への決定となるよう、万全の態勢で取り組んでまいります。家庭内においても、お子さんの心や体の調子をしっかり整え、入試本番に持てる力を最大限発揮できるようサポートしていただければと思います。



お知らせ 「信陵中生の人命救助による感謝状贈呈」

新聞でも掲載されましたが、高齢者の人命救助に貢献したとして福島北警察署長から本校2年生の五十嵐千晃さん、金田一大翔さん、斎藤結雅さんに感謝状が贈呈されました。「気づき 考え 行動する」という目標を実現してくれた行動が評価され、大変うれしい報告となりました。

